

2025 年度 学校関係者評価委員会 議事録

| 日時  | 2025 年 9 月 17 日<br>13:30~15:30  | 場 所 | 国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校<br>6号館 7F バンケットルーム | 進 行 | 原田 |
|-----|---|-----|---|-----|----|
|     | 議 事   |     | 松本                                      |     |    |
| 出席者 | ・原田 正隆(千葉市民活動支援センター コーディネーター)<br>・今関 真治(千葉都市モノレール株式会社 総務部長)<br>・岩崎 正佳(株式会社両総グランドサービス 営業課 課長)<br><br>順不同記載   |     |   |     |    |
|     | <学校職員><br>・古川 博文(学校長) ・石神 直人(教務室室長) ・大久保 昇(教務室室長補佐) ・松本 多英美(教務室室長補佐)<br>・立石 智之(観光科・鉄道科リーダー) ・塚本 綾(ブライダル科リーダー) ・長谷川 慶太(テーマパーク科)<br>・小川 泰明(就職室室長) ・北 和樹(学務室室長)  |     |   |     |    |
| 議題  | 1. 2024 年度重点方針<br>2. 2024 年度自己評価  |     |   |     |    |
| 議事録 | 1. 2024 年度重点方針<br><br>「ホスピタリティ・マインド豊かな社会人の育成」の、さらなる目的実現に向け、「それぞれのチームが最強のチームに成長すること」そして「挑戦する組織であること」と考える。重点課題である募集、教育、組織については、「進化」「変化」「強化」という3つのキーワードを軸に刷新した新成長戦略で教育と組織文化を再生する。「観光業とその周辺産業」は、21世紀における我が国の基幹産業と位置付けられ、重要な政策の柱となっている。この日本の将来を担う産業に必要とされる人材育成は、我が国の重要な課題であり、まさしく当校の存在意義そのものである。その人材育成の最前線に立つ我々は、自己の使命と責務に誇りを持ちながら、これからも、たゆまぬ成長と挑戦を続ける組織でありたいと考える。   |     |   |     |    |
|     | 進行役を委員の中から選出(原田氏)し、学校関係者評価委員会を開会した。<br><br>2. 2024 年度自己評価<br>(1)教育理念・目標について<br>5:社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか【評価3→3】<br>→観光・レジャー・エンターテインメント業界特性を活かし、テーマパーク科にダンス要素を取り入れたダンス専攻を新設し募集を開始。また、観光科・鉄道科・テーマパーク科を中心に PC やタブレット・クラウドシステム用いた授業運営ならびに科目として SNS マーケティングの授業も開始。<br><br><u>学校関係者からの質問・意見</u><br>・委員:①ダンス専攻を指導する教員はいるのか<br>②タブレット授業では学校のタブレットを使用しているのか<br>通学が困難な状況やパンデミック時などでタブレット授業はいい<br>IT 関連を指導できる教員はいるのか<br>③大学で授業をしているが、アナログでの出席管理から IT 管理に変わって来た<br>AI を使っていかなければいけない時代。ただし AI に頼りすぎると人間の衰えがでてくるかもしれない<br><br>・学校:①ダンス専攻担当の教員を 1 名採用<br>②タブレットは学生が入学前に準備<br>IT に特化した職員がいる。クラウド上での管理は、学生が自宅でも見られるためいい。 |     |   |     |    |

③次年度からタブレットで出席管理をするため準備を進めている。

## (2)学校運営について

6:業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか【評価3→3】

→個人情報取り扱い、また外部との関わりの中で必要最低限の体制は整備されている。年々変更となる制度や規定(規程)に併せて漏れず修正・刷新していく。また、周辺地域へのコンプライアンス遵守と共に地域貢献を目指す。地域貢献の一貫として定期的に職員にて周辺のごみ拾い活動を実施している。

### 学校関係者からの質問・意見

・委員:特になし

## (3)教育活動について

全項目が昨年と同評価。2024年の大きな変化は無いものの、2025年(本年)より授業時間を『50分から90分』に変更。現在学習成果等の確認を行っている。

職員の学生指導強化の施策として google クラウドを使用した授業が多くなってきている。引き続き IT 教育強化等、職員のスキル強化につなげたい。

### 学校関係者からの質問・意見

・委員:①学校内で受けられる資格と外部で受ける資格の割合

校内の設備が整っているため、学校で受けられる資格が多くあればいい。

②学生はタブレットだけでなく、パソコンは使えるのか

パソコンの立ち上げ操作すらできない学生もいるのでは。家庭生活ではタブレットがあれば成り立つので、パソコン離れがあるのではと思う。

・学校:①TOEIC、秘書検定、ブライダル系の検定は学内実施。旅行系の国内管理者等は外部受験

英語、ビジネス系の資格受験は継続している。検定協会の話ではビジネス系の資格を受験する学生が減っているとのこと。当校では必須で受ける検定を決めて受験させている。

②学生のパソコンスキルには差がある。これまでの教育環境が影響している。

## (4)学修成果について

1:就職率の向上が図られているか【評価4→4】

→希望業界への就職が多く叶い、一昨年に先決内定ルールを取りやめたことで複数企業を受験することが可能となった。業界だけでなく希望就職先へ進める学生が増加。希望就職者は昨年(2023年)から4.6%上昇し99.4%とコロナ前同水準となった。

### 学校関係者からの質問・意見

・委員:特になし

## (5)学生支援について

学生支援に関しては授業内容以外にも学校生活において相談が多様化している。

カウンセラー学生相談はもちろんのこと。担任が複数化面談の実施等学生サポートを実施している。

10:社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか【評価2→2】

→ホテル科国際ホテルコースを、24年度募集より新たにホテル科英語コースの募集を開始。

25年度募集より新たにテーマパーク科テーマパークコース・ダンス専攻の募集を開始。

卒業生に関しては以前と変わらず必要に応じて情報共有等行い、再就職等のサポートを行っている。

#### 学校関係者からの質問・意見

- ・委員：①以前より色々な家庭環境が増えている。生活に集中して教育に割けない家庭環境もあるのでは
  - ②発達障害については本人が意識していない場合もあるが、他人とのコミュニケーションは時にその症状が出てしまう人が増えている。スクールカウンセラーがどこまで関与できるのか。スクールカウンセラーはどのような方がやっているのか
  - ③項目 10 の評価根拠にある夜間部の設置はいいと思う。評価を上げていいのでは
- ・学校：②人間関係を築くのが厳しい学生がいる。学生同士の関わり方についても授業に取り入れたい。スクールカウンセラーは常勤ではないが、学生本人が直接カウンセラーにアプローチしている。先に担任に話してくれたらいいが、直接カウンセラーに行ってしまう。スクールカウンセラーはいろんな事例を把握しているため、頼りにしている。カウンセラーと担任の 2 名体制で学生支援を行っている。
  - ③夜間部の学生数が減って来ている。奨学金制度の進化により、奨学金を利用して昼間部を選ぶ学生が多い。

#### (6)教育環境について

2024 年度は大きな変化無し。学園内の老朽化施設に関してはその都度、関係部署に相談している。施設・設備に関しては Wi-fi 環境等 定期的に改善をしているが場所により更なる改善が必要な場所が校内に存在する。2025 年度は新たに新 6 号館完成。通信環境の整備が学園として遅れているため、環境面の整備が必須。今後もタブレット授業が増えるので、タブレットの活用が出来るよう環境を整える。

#### 学校関係者からの質問・意見

- ・委員：災害対策は難しくなっているので項目 5 の評価が 2 と低いのでは。もう少し評価が高くていいと思う。防災訓練は学生と職員両方で行っているか。お客様に何かあった際の救急救命のような授業はあるのか。災害や救急に関わる内容を授業でできたらいい。緊急時に対応できる術を身に付けるのはいい。全員必修の授業もいいのでは。卒業後はフロントに立つ学生が多いので、緊急時の対応は学ぶべき。カリキュラムに入れてはどうか
- ・学校：避難訓練は年 1 回のみ実施のため、当日参加する講師が毎年変わる。そのため毎年問題点も出る。反省を次に生かすスタイル。災害訓練に関する授業はない。鉄道科は授業内で AED の使用方法等を学生に伝えている。エアライン科は赤十字救急法講習を実施。

#### (7)学生の受入れ募集について

5:経費内容に対応した妥当な学納金であるか【評価委4→4】

→昼間部で必須としていた国内・海外研修を任意研修とした。昨今の物価高を考慮し妥当性のある学納金設定とした。学生の家庭状況に合わせた学費設定。納得性のある学費設定とした。

#### 学校関係者からの質問・意見

・委員：特になし

#### (8)財務について

学園内関係各部署と連絡・協議を定期的に行い、情報共有および収入・支出の確認を随時行っている。2024 年 4 月在籍は日本人 344 名・留学生 282 名と観光業を目指す日本人の割合が少なくなっているが予算等は適切に管理を行っていきたい。予算と実績確認を四半期ごとに行っている。予算と実績の根拠に関する理由を確認している。固定費の値上がりを踏まえた運営が今後必要。24 年度は日本人数が多いが 25 年度は留学生の方が多。留学生マーケットを含めた運営を行う。

#### 学校関係者からの質問・意見

・委員：人件費と物価高による上昇が続いている。ITH は一定の学生数があるので安心。借り入れはあるのか  
世間がエンターテイメントの方向に向かっているため ITH の方向性がよい。

・学校:今は借入なし。

#### (9) 法令等の遵守について

個人情報の取り扱い、また外部との関わりの中で必要最低限の体制は整備されている。年々変更となる制度や規定(規程)に併せて漏れず修正・刷新しており、千葉県の上事課より定例確認・指導の下、管理徹底している。

##### 学校関係者からの質問・意見

・委員:項目2の個人情報取り扱いは厳しくなっている。この点についてはどうか

・学校:以前よりは厳しくなっていると感じる。シュレッダーと溶解ゴミでの収集を実施。学校での個人情報の取り扱いは変わっていない。

#### (10) 社会貢献・地域貢献について

社会貢献ボランティアにおいては学校単位ではなく、学園単位で千葉市・幕張の浜ビーチのごみ拾い等を継続実施している。2025年度よりさらなる学生ボランティアの活躍の場を設定する予定。小学生向けイベントのキッズハッピープロジェクトや中高生向けの学び場を実施。一般の方向けの講座も検討中。

##### 学校関係者からの質問・意見

・委員:色々なボランティアに学生が多数参加したという実績がでたらいいのでは。

#### (11) 国際交流について

学園内行事やボランティア活動にて日本人学生と留学生の交流の場があるものの、観光用各学科の専門科目充実目標から交流授業というものが難しい状況。インバウンド客の増加やさらなる国際化も考え、国際交流の場を増やせるように考慮したい。

##### 学校関係者からの質問・意見

・委員:①国に帰って就職するのか。それとも日本で就職するのか。日本で勤めるために日本の専門学校に来るのか  
日本企業は外国人雇用に関して抵抗感もあるのでは。

②卒業後の仕事を考えて、留学生はどのような学科を目指して入学して来るのか

③海外で留学生の募集を行っているか

・学校:①日本で就職するために専門学校に入学している。就職に関しては留学生は日本人より厳しい

②ホテル8割、エアライン2割。旅行会社への実績はない。ビザによるハードルが高い。

③留学生同士のコミュニティや口コミによる入学者が多い。募集に関わる費用も日本人とは違う。

学校関係者評価委員会を閉会した。

以上